

バスラ日誌（4月8日）

- 1 明日9日朝から10日午後3時まで、イタリアの総選挙が実施される。与野党のイラク部隊派遣に関する考え方が異なるため、その結果によっては、現在派遣されている部隊にも影響があるものと思われる。
上院は、終身議員を除く315、下院は630の全議席を改選するが、いずれも比例代表制で支持政党を選ぶことになっている。上院は州ごとの計20、下院は計26の選挙区で、各区の政党候補者名簿順に当選を決める。最多議席を得た政党連合が政権を担うが、政権の安定を図る「ボーナス制」により、上下両院とも勝利した政党連合に総議席の55%が保証される。与党中道右派連合「自由の家」はベルルスコーニ首相、野党中道左派連合「連合（団結）」はプロディ元首相が率いる。どちらが勝つかを伊軍LOに聞いたところ、「それは誰もわからない。」そうだ。もし、ベルルスコーニ首相が勝てば、現在予定されている2006年12月撤退が延びる可能性があるかと聞くと「プロバブリー・イエス。バット・アイ・ドント・ノウ」だそうだ。それではプロディ元首相が勝てば、派遣期間に影響するかという質問には、「アイ・ドント・ノウ」とのことである。どこかのLOの答え方に似ている。 ()
- 2 すでに2日前の4月6日の朝0526頃のことであるが、高機動車で司令部に向かっている途中、バスラ市の方向で閃光×2を見た。その閃光は、白色で0.5秒くらいの間に2回またいた。バスラ基地に対しロケット弾か何かが射撃されたのかと思い、少し不安になったがそのまま高機動車を運転し司令部の駐車場に向かった。じ後、司令部J3の状況図にバスラ市のシャットアルアラブホテル() ()に対しロケット×4による攻撃があったと掲示された。攻撃時間は、0526であり私が閃光を目撃した時間と一致したので、あれはロケット弾の光だったんだと確信した。でもバスラ基地に対する攻撃でなくて良かったと思った。ちなみにSINCREP番号は、4098である。サマワに送信したのは、夜9時くらいだったと思うが、J3の当直が配信するのを忘れていたため、私が指摘してようやく配信された。指摘した際、J3の当直（中尉）は、ばつが悪そうにしていた。 ()
- 3 本日快晴。バスラ3名、極めて健康。 ()